

## 第2回佐渡市地域クラブ活動推進協議会 会議録

(濱崎学校教育課課長補佐)

次第に沿って進めさせていただきます。挨拶ということで佐渡市地域クラブ活動推進協議会伊藤会長よりご挨拶申し上げます。

(伊藤会長)

本日は大変お忙しいところ、また大変暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。9月が目前に迫ってまいりました。スポーツ協会としては、トライアスロンを控えているわけでございますけれども、同時にいよいよ地域クラブ活動が始まるというふう実感をしているところです。1回目の協議会におきましては、佐渡市地域クラブ活動推進プランの中身を検討いただきまして、その中で、スキップ型やエンジョイ型を示すとともに、今後の予定として、保護者説明会や指導者研修会など他に本日はそれらについて経過報告を行うとともに、推進プランを推進計画としてバージョンアップしたものを示いたしました。内容についての協議をお願いしたいと思います。この地域クラブ活動が順調に進むように、皆様方にバックアップをお願いいたしますとともに、今日様々な協議が進みますことをお願いいたします。

(濱崎学校教育課課長補佐)

続きまして教育委員会香遠教育長よりご挨拶申し上げます。

(香遠教育長)

教育委員会を代表いたしまして、一言お礼を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、本日もご多忙のところお集まりいただきましてありがとうございます。前回の推進協議会から2か月が経ちました。本日の協議会では、まず始めに2か月間の取り組み状況を報告させていただきます。その後、推進計画についてご提案させていただきますが、これは地域移行完了に向けて作成・公表することが望ましいとされているもので、前回の協議会で、プランの図としてお示ししたものより丁寧かつ具体的にまとめたものです。委員の皆様から中身をご審議していただきたいと思っております。初年度のため不透明な部分もありますが、より良い計画にし、9月17日(日)からのスタートに備えたいと考えております。それぞれの立場、様々な観点から、忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

(濱崎学校教育課課長補佐)

それでは伊藤会長の方から議事を進めてもらいたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(伊藤会長)

それでは皆様よろしくお願いいいたします。最初に会議の開催についてです。要綱に基づき、委員の過半数の出席となっておりますが、本日全員出席でありますので会議の開催を宣言いたします。続きまして傍聴についてですが、議事進行に支障がある場合は、退出をさせていただきます。また会議を妨害し、または人に迷惑を及ぼすと認める場合につきましても、職員の指示に従っていただきます。詳しくは傍聴を希望される皆様へ、をご覧ください。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。2番の報告事項これについて事務局より説明をお願いします。

(小田学校教育課指導主事)

それではこれまでの取り組み状況について説明をいたします。学校教育課指導主事の小田と申します。

私の方から①、②の、保護者説明会と佐渡市地域クラブ活動募集についてご報告いたします。まず初めに資料の訂正を1か所お願いいいたします。資料No. 1-4の説明がございいますが、こちら、保護者説明会の実施が7月4日(火)から24日(金)となっております。こちら21日(金)の間違いでございますので、訂正をお願いいたします。申し訳ございません。それでは説明をいたします。保護者説明会についてです。資料No. 1-2 ホチキス止めの資料をご覧ください。保護者説明会の実施日時、会場、参加者数等が記載してございます。こちらにあります会場で説明会を行いました。参加保護者計100名、教員が27名の参加でございました。次のページをご覧ください。「県の方針およびこれまでの取り組み状況について」、1枚、2枚めくっていただいて、「令和5年度休日の地域クラブ活動推進プラン(佐渡プラン)」、こちらの資料を用いまして、保護者への説明を行いました。

資料ナンバー1に戻ります。その説明会で出た主な質問です。

- ・今の部活や既存のスポーツクラブとの違いがわかりにくい。
- ・休日だけでなく、平日の部活は今後どうなるのかといった最終的なゴールを示してほしい。
- ・既存のジュニアスポーツクラブとしっかり連携をして、指導者の取り合いにならないよう、既存の地域のクラブ活動を生かす形にすべき。
- ・様々な活動があることは子供にとってありがたい。伝統芸能や自転車マリンスポーツなど、素晴らしさがあって良い。
- ・指導者の質はしっかりと担保できるようにしてほしい。参加したいしたくないが、指導者によるところが大きい。
- ・種目によっては教員に対して指導者となるよう、連盟等から圧力のようなものがあり、今後、休日を地域クラブとした場合に、いずれは部活の大会と必ず重複することになり、大会との兼ね合いを整理していくべき。

主にこのような質問がございました。保護者説明会についての説明は以上です。

続いて、②の地域クラブ活動募集についてご説明いたします。7月24日(月)に案内を送付し、申し込み期限は8月11日(金)といたしました。資料ナンバーの1-3をご覧ください。

令和5年度地域クラブ活動募集案内というものを、2枚めくっていただきまして、地域クラブ活動Q&Aこちらの2種類のものを中学生全員に配布をいたしました。

また、申し込み忘れがないように、8月2日(水)、8月10日(木)、各学校へ可能な範囲で、リマインドメール等の再周知の依頼を行いました。

先ほどの資料の一番最後をご覧ください。申し込みを締め切りまして集約した結果、スキップ型、エンジョイ型それぞれの参加者が示してあります。スキップ型につきましては、148名の参加希望。

エンジョイ型につきましては93名、こちらは延べ人数での希望がございました。以上で募集についての説明を終わります。

(鶴間社会教育課課長補佐)

社会教育課の鶴間です。よろしくお願いいたします。資料ナンバー1-4というものをご観いただきたいと思えます。まず今回の佐渡市の地域クラブ活動につきましては、議題の推進計画の中でも話がありますが、子供たちが多種多様なスポーツ文化活動に気軽に触れていただきたいという趣旨で計画したものでございます。

その中でネックになった部分というのが、道具の関係でありました。ボール等の消耗品につきましては、国の補助金等を活用しまして、こちらの方で購入するというのも可能であったわけですが、個人が使用する道具、グローブとかバットとか、ラケットとかは、基本的には個人で用意していただくということになります。その中で新しいスポーツ活動、文化活動に参加したいという子供たちに、道具を買い揃えないと参加できないというふうになってしまうと、本末転倒であるというところで、SDGs 未来都市である佐渡市の取り組みの一つとして、市民の皆様から、おうちで眠っているような道具があれば、寄付をしていただいて、それを有効にこの活動に活用させていただきたいということで募集したものでございます。

1-4の表面ですが、リユース募集として、令和5年8月10日(木)に各家庭に回覧配布したものでございます。下の方にありますように、今現在募集中ですが9月1日(金)まで、各地区公民館で受け付けますので、使わないものがあればいただきたいというお願いをしたものでございます。

結果については裏面でございます。途中経過というところでございますが8月25日(金)現在で、各地区から人数、物品、それぞれ記載してある通り寄付をしていただいております。合計でいきますと、9名の方からご協力いただきまして、物件数でいきますと31、細かいボールとかの寄附をしていただいた方もいますが、それを除いて大きなもので31という状況になってございます。

以上です。

(高橋社会体育係長)

続きまして指導者研修会について報告させていただきます。社会教育課高橋と申します。よろしくお願ひいたします。

資料 No. 1-5 をご覧いただきたいと思います。今回、この地域クラブ活動で指導いただく指導者を対象に、研修会を開催いたしました。

8月26日(土)の18時半から21時まで、または27日(日)午前9時から11時半までの、このどちらかに出席してくださいということでご案内し、研修会を行いました。

3番のところにございますけれども、研修の内容としまして、旧金井町出身、甲南女子大学教授であります埴佐敏先生をお招きして、地域で育てる子供の未来というテーマで、講演を行いました。次ページ以降にその指導者研修会の資料も添付させていただきましたけれども、今後の地域クラブ活動の実施に向けて、学校における部活動の変遷と現状であったり、思春期の子供の心理的特性の部分、また、スポーツ指導の部分で、以前は根性という部分がありましたけれども、今は、体・心・頭を育てるというような内容でございました。

また研修の第2部として、これから実施します佐渡市地域クラブ活動の概要等について、説明させていただきました。また第3部として、今後の9月第3週からの実施に向けて、今後の流れについて説明をさせていただいております。

この研修会ですけれども、土曜日の出席者が36名、日曜の出席者24名ということで、今現在、指導者の報告をいただいている方が全部で79名いらっしゃいますけれども、合わせて60名出席ということで、8割近くの指導者の方から出席いただいております。

なお今回欠席されました指導者の方につきましては、後日この研修会の資料と、録画した映像を送付させていただいて、確認していただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

(伊藤会長)

ありがとうございます。事務局から報告事項①から④まで説明がありました。今の計画の説明につきまして、ご質問ご意見等ございますでしょうか？いかがでしょうか？もし何かありましたらまた最後の方でも構いませんので、いただきたいというふうに思います。

それでは次第の3番の議題に移らせていただきます。この推進計画につきまして、事務局より説明をお願いします。

(坂井教育指導主事)

社会教育課指導主事の坂井一美と申します。よろしくお願ひいたします。私の方から資料No.2をもとに、推進計画の提案をさせていただきます。

この地域クラブ推進計画（佐渡プラン）であります。今回提案するまでには、昨年度の部活動改革検討懇談会を経て、また1回目のこの推進協議会でいただいた意見等を基に、教育委員会3課で検討しまして、この形で提案させていただくことになりました。

中身について少し時間いただいております。まず第1章であります。初めにとということで、そこでは国の方針、それから県の方針、目的などについて記載し、佐渡市ではそれを受けて、この計画を作成してきたという中身が書いてあります。

2ページをご覧ください。2ページのところには、国が令和5年から7年までこの3年間は、改革推進期間であるというふうに示しましたし、それを基に、県でも同じように取り組むという方針が出されました。どちらもへき地や、離島などは3年間に限定しないというふうに言われておりましたが、佐渡市は、3年間で何とかしたいと考えて取り組んで参りました。9行目のところに、書いてありますが、市町村は各種ガイドライン等を参考に、市町村の推進計画を策定し、公表することが望ましいというふうに県から示されたので、それに基づいて、佐渡市ではこの推進計画を策定して、公表するというように進めて参りました。

また、12行目からは、新潟県の教育委員会が地域スポーツクラブ活動の制度設計の手引き並びに文化活動についても手引きを作成して、各市町村にこれに基づいて作成するようにというような指示がありました。

その大きな目標、方針が、3ページのところに図で示してあります。地域スポーツクラブ活動（教委関与）の目的として、生徒の多様なニーズに応じた活動機会の保障と、教員の働き方改革の推進の両立。目的としては運動したい生徒全てが参加可能な競技力向上のみを目的としない運動機会の確保。とあります。同様に文化活動についても、4ページのところに記載しましたとおり、技術向上のみを目的としない、文化芸術活動の機会の確保とあります。

佐渡市ではこの目的を大変重視して計画を立てて参ります。5ページのところに書いてありますが、令和5年度から段階的にできるところからスタートし、改革推進期間後の令和8年度を見据えた計画を進めます。というふうにこの計画では、考えて参ります。

第2章のところには、部活動の現状並びに課題として考えられるものを記載しました。

また、アンケート調査の結果等も載せておきました。6ページをご覧ください。これは、令和4年度の各中学校の部活動の実態であります。小規模校については本当に部活動の種類が少なくなっているということ。佐渡市全体でも、スポーツでは6種目、文化では3種目と種類数も少なくなっております。ただ、その加入率を見ると、かなり生徒は高い率で加入しているという実態が分かるかと思えます。なお、南佐渡中の部活動加入率が129%になっておりますが、これは複数の種目を兼ねて入っているというような状況からこの数値になったということでもあります。7ページからは、令和4年度に行いましたアンケート結果をお伝えしました。

特に9ページの部活動がなくなった場合、休日にどのような取り組みを希望しますかというアンケートに対して、53%の生徒が、どこにも参加したくない、休みたいという

ふうに願っている。この結果を重視しまして、何とかスポーツ離れを防ぎたい、文化活動に触れる機会を失わせたくないという思いから、検討を重ねて参りました。

なお、2番目に希望が多かった21%は平日の部活動と同じ生徒を中心に、同じ種目や文化活動を自分の学校で行うという希望でありました。その結果も重視して、計画を考えて参りました。

第3章については、基本目標を掲載させていただきました。この目標については、最初に申しあげました改革検討懇談会でいろいろ意見をいただきました。

一番大きな目標として、スポーツや文化活動を楽しみ、生きる力を育み、自己実現を図るいうことを最大の目標にし、より具体的な目標として、重点を決めてあります。12ページの4番目のところに推進する重点を5つ設けました。この5つの重点が、具体化できるように計画して参りました。

第4章に移ります。13ページからは地域クラブ活動推進協議会の設置について、このような図を基に推進していったらということ検討して参りましたし、14ページからは、具体的にどのようにそのプランを進めていくかについてお伝えしました。実施日については、9月以降、第3日曜日。対象者は中学1年生から3年生。なお運営に当たっては、コーディネーターをスポーツ担当と文化担当の2名配置して、学校との連携を進めながら、実施時間帯や会場の予約、さらに必要経費の事務手続き等を専門に行ってもらうことにしてあります。

15ページをご覧ください。これは以前にもお示ししましたが、このプランの大きな特徴として、スキップ型とエンジョイ型の二つを考えて進めていく中身であります。今年度初めての取り組みでありますので、生徒の参加状況や活動実態等から、次年度へ向けてエンジョイ型からスキップ型への見直しとか、エンジョイ型からスキップ型への移行、さらには民間の地域クラブへの参加や設立へと発展していったらと考えています。

(4)の参加者の負担ですが、国や県の補助を活用することによって、保険料も含めて今年度は一律に年間1,000円を徴収することにしていきます。なお、要保護や準要保護の家庭については会費を免除するというふうに設定しています。16ページにはこのような佐渡プランの計画の一覧表を載せておきました。

17ページからが第5章の年次計画です。これは、令和8年度の休日の部活動完全移行を見据えて、3年間でどのような取り組みを進めていくかについて、10項目について提案してあります。特に2番の実施主体ですけれども、本年度は市教委が中心となり、また、スポーツ団体や文化芸術団体の協力を依頼する中で進めていっておりますが、今後は、既存の民間等の地域クラブとの連携を強化すること、既に中学生も含めた地域のクラブが設置していますが、そのようなクラブとの連携を深めて、持続可能な地域クラブ活動へと整備していきたいと考えています。また5番として、指導者の資格として、指導者の研修を大事にしていきたいと考えております。具体的には、18ページに年次計画の予定表がありますので、ご覧ください。19ページには、今ほどの指導者資格ということで、年1回の研修会の実施を継続して行い、現在の指導者の8割程度が指導者マ

スターの認定をしていきたいということでもあります。継続して研修会に参加した指導者には、何とかマスターというふうな認定証を与えて何らかの特典といえますか、賞賛が得られる方法を考えていきたいと考えております。

なお、指導者の研修会については先ほどお伝えしましたが、8月26日(土)、27日(日)に1回目を実施いたしました。その際に本日資料としてお渡ししておきましたこの指導の手引きというものと、安全管理マニュアルをこのようなファイルに閉じまして、指導者の皆さんにお渡ししております。

保護者質問にもありましたが指導者の質を考えてもらいたいという願いに対し、このような資料を基に少しでも共通して生徒を育成するために取り組んでいただきたいと思いますと考えております。

20ページ21ページの佐渡の地図であります、20ページは令和4年度の各学校の部活動の種類並びに参加人数等が書いてありますし、21ページには本年度予定して示しました地域クラブ活動の場所等を記載しておきました。

22ページをご覧ください。推進計画の見直しということで、これは令和5年度以降、計画の検討を行って、必要に応じて各内容について見直し、改善していきます。本当に今年度初めての取り組みでありますので実際やってみないと分からない、様々な問題点が見つかるかと思えます。

この推進協議会でも今年度後半でまたそのような改善点について教えていただきたいと思いますので、また今年度進める中で、いろいろ意見をいただけたらありがたいと思えます。なお、23ページは先ほど、お話ししました募集案内。Q&Aを載せましたし、29ページには、推進協議会の設置要綱を載せました。なお、訂正があります。皆様方の委員の名簿を載せておいたのですが、5番と6番の団体名称の誤りがありましたので訂正願いたいのですが、佐渡市小中学校PTA連合会会長でありますので、そこには小の文字はありません。中学校の前に小を入れて小中学校のPTA連合会に訂正いただけたらありがたいと思えます。

続きまして、②番の指導の手引き及び安全管理マニュアルについて続けてご説明いたします。指導の手引きについては、4枚のものであります。技術的なことよりも、生徒1人1人を大事にして、指導していただきたいという中身を記載してあります。特に、2ページ3ページには、今問題となっているハラスメントに注意して指導にあたってもらいたいということを記載してありますし、4ページのところには、コミュニケーションが大切であると書いてあります。

生徒にとって初めての活動でありますし、いろんな学校の生徒が一緒に集まって活動する場面でもあります。特に初回は大変生徒が緊張すると思えますので、ぜひ指導者の方からお声掛けいただきたいという話を研修会の折に、この資料とともにご説明いたしました。続いて安全管理マニュアルについてです。もしそんなことが起こったらとか、何が起こるか分からないというのが実際の活動であります。起こった際に困らないように、あらかじめこういうことが起こったらこういうふうに対処いただきたいというよう

な資料をまとめて記載しました。

なお2ページのところには、この活動については、市教委の方で救急箱を用意しましたので会場に持って行っていただきたい。保険についても書いてあります。市教委では、生徒並びに指導者の方々全ての保険手続きを行っています。

また、3ページのところには、活動の流れ、基本的な流れを記載しました。特に指導者の方に注意をお願いしたいとお話したのは、連絡もなしに欠席した場合ですね。そのようなときは、事故に遭ったかもしれないという場合がありますので、ぜひ確認を取ってほしいということです。指導者の方には事前に参加者の名簿と緊急連絡先を渡してありますので、欠席の連絡がない場合は、必ず確認の連絡をするようお願いしました。なお8ページ9ページには、今年度特に暑さが厳しい日々が続きましたので、今後もそういうことが懸念されることから熱中症について注意していただきたいので資料を載せました。

私からは以上になります。よろしくお願いたします。

(伊藤会長)

ありがとうございました。ちょっと分量が多いので、最初に、推進計画の第2章までで、行いたいと思います。冊子の1ページ目から10ページ目ぐらいまでの中で、質疑があればお願いしたいと思います。

(金子(春)委員)

すいません。3ページで上の図の部分であります。一番下段のところ。矢印が双方向に出ているのですが、左側に特に記載はないようです。けれども、見方としてはどのようなになっているのでしょうか。対応するものが左側にあるということでしょうか、お願いします。

(坂井教育指導主事)

右側は2行に渡っているのですが、これは左側に何かあるということではなく、上にある目的全てに対応させているという意味での矢印です。

(金子(春)委員)

何かちょっと誤解を招くようにも思いますので、そのあたり工夫された方がいいかなというふうに思います。2点目よろしいですか。5ページのところに上から3行目です。佐渡市の特色や課題を踏まえた検討を行うとともにという文章がございます。このところですが、一般的に特色と捉えると他のところと違うところ、他のところと比べて特に優れているところという感覚が私はあるのですが、この部分の佐渡市の特色をどのように捉えていけばよろしいのでしょうか。そして、同じように第2章という大きな項目の上の3、4行目に、佐渡市の特色を生かした地域クラブの活動ということ記載もございます

し、そのあたりのところがちょっと何なのかなというふうに思います。それで個人的な意見として、上の方の佐渡市の特色や課題を踏まえた検討という部分ですが、現状や課題を踏まえた検討を行うっていうようなことでいいんじゃないかなと私は思うんですけども、一つの意見として聞いていただきたいと思います。

(鈴木教育次長)

特色とした一番の意味は、今回用意した種目にもあるのですが、佐渡市は湖もあって、海も川もあり、いろんな環境が揃っているということで、ここはエンジョイ型にボートやトレッキングですとか、佐渡の強みを最大限生かしたものを検討したいという意味で特色というふうに使わせていただきましたし、文化部についても人形芝居など多様な伝統文化がありますので、そこも最大限活用したいという気持ちで、特色とさせていただきます。ですが、おっしゃる通り、前段の方は誤解する恐れがありますので、そのように訂正させていただいて、2回目の出てくるところはこのままにとさせていただきますと思っております。

(金子(春)委員)

8ページのアンケートの結果のところですが、(3)の回収結果というところがございますが、小学校5、6年生719人、中学校1、2年生691人とありますけれども、対象者、配布数がいくつだったのか、回収率はどれだけだったのかというようなことも具体的に書いておいた方が、いいのではないかと思います。

次に、ドッチボールとありますが、ドッジボールという表記がいいのではないかなというふうに思います。それとあなたが部活動に入る目的を教えてくださいという回答については、複数回答を求めていたのでしょうか、それとも一択だったのでしょうか。

(小田指導主事)

まず、回答については複数から一つを選ぶという選択式となっています。回収率の部分につきましては、子ども部分は明確にわかるのですが、保護者の部分は小・中の被りもありますので、正確な数値は難しいと思いますが、どれだけ集まったのか何らかの形で伝わるように、何かしらの記載を検討したいと思います。

(伊藤会長)

その他ございますでしょうか。よろしければ、次は3章4章10ページから16ページまでをお願いします。

(金子(春)委員)

10ページのところです。クラブ活動の目標ということで、スポーツや文化活動を楽しみ、生きる力を育み、自己実現を図るところで、生きる力という言葉が出てき

ますが、教育界では一般的な言葉というふうになってるかと思うんですが、一般的に見たときに、この生きる力というものが具体的にどんなものかということを表記、定義づけされていた方が、この目標がわかりやすくいいのではないかと考えますがいかがでしょうか。

(坂井教育指導主事)

この部分については、この表現にする前に、生涯スポーツ、生涯学習の基礎を培うというような書きぶりだったのですが、懇談会の際に、それはまたわかりにくいということで、今回このように変わったという経緯もあります。説明はあったほうがよりわかりやすいと思いますので、そこを検討したいと思います。

(金子(春)委員)

11 ページの3の推進に向けた基本目標のところ、上から2行目ですが、残された課題や検討事項が多くとありますが、これは10 ページの3の(1)から(6)を指しているというふうに捉えてよろしいですか。

(鈴木教育次長)

はい。昨年度に懇談会という形で検討したり、アンケートも取ったりした中で、一応地域移行を進める上で出てきた課題というのが、まさにこの10 ページに挙げられている課題でございまして、このあたりを踏まえて書いているところです。

(伊藤会長)

よろしければ、第5章の方で17 ページ以降はいかがでしょうか。

(金子(春)委員)

すいません。13 ページいうことで戻ってしまいますが、表記っていうかレイアウトというか、ぱっと見たときに少し見づらいということ、また、図が出てくる際には、図1とか図2とか、そういう表記が文章を読んでもわかりやすくいいのではと思います。他にも、13 ページ下には部活の地域移行に関わる次に挙げる事項検討し、その結果を教育委員会に報告することとしますとあるが、次に掲げる事項とは何を指しているのかなど、繋がりが悪い箇所があるように思います。

(鈴木教育次長)

本当は次に掲げる事項というふうにして書いてある下に説明の箇条書きがあったのですが、修正の過程でその部分を取った関係で、おそらく修正が間に合っていなかったと考えられます。あと図の話はまさにごもっともですので、図や表がある箇所には、図1のように書くことが当然ですので、そのあたりはちょっと全体を見直しながら、修正した

いと思います。

(金子(春)委員)

14 ページでも、図で示した2つの事業パターンとあるが、どの図なのか、また2つの事業パターンとは何なのか、私たちは当然わかっているわけですが、初めて見る方にもわかりやすくすべきではないかと思います。例えば、括弧書きにして、スキップ型、エンジョイ型と入れておくとわかりやすくなるのかなと私は思って読んでいました。同じく14 ページ(2)の運営方法の下に、令和5年度はコーディネーターをスポーツ担当と文化担当の2名を配置となっていますが、令和5年度はという記になっているので、これ以降はどうなるのでしょうか。その後も2名体制でいくということであれば、令和5年度からはという記述の方が、いいのかなと思っています。

あと、15 ページのスキップ型、エンジョイ型それぞれの説明について、語尾が計画しましたとなっていますが、例えば、活動ですとするなど、もう少し簡潔明瞭に書いた方がわかりやすいかないかと思いました。

(鈴木教育次長)

ありがとうございます。コーディネーターのところにつきましては、元々検討段階ではもう1人全体を統括する統括コーディネーターが必要じゃないかというようなお話もありながらですね、初回なのでということで今回、スポーツと文化の2名とさせていただきましたが、今回やってみての課題も踏まえて、来年度以降はどうするかというところは検討が必要だと思っています。ですので、今回は令和5年度はと記載させていただいたところです。

(宇治委員)

12 ページの推進に向けた重点の部分ですが、一番最初にその島外から指導者を招聘とありますけど、個人的にはまず生徒たちがあってから指導者があってというような順番の方が流れのほうがいいかと思いました。また、当該指導者を招聘する予定とか計画が何かありましたら、教えてください。

(高橋社会体育係長)

この後9月からクラブ活動をスタートするわけですが、各種目等の専門的な指導者の方を外から招いて、島内の指導者向けに技術の指導であったり、そういう講習会を今後計画して、実施したりしていきたいと考えております。詳細についてはこれから検討していくこととしています。

(伊藤会長)

順番についてはいかがですか。ご検討いただけるってということでよろしいですか。

(坂井教育指導主事)

この順番については特に理由付けしてありませんので、生徒から指導者というような順番で修正したいと思います。

(金子(春)委員)

17 ページ第5章の方に(1)から(10)まであります。それぞれ文章が書かれているんですけども、非常に見にくいんですね。項目の字数が違うために、説明文が始まる部分が前に出たり後ろにいたりしているので、いっそのこと表のような形にしたらどうかと思います。

(鈴木教育次長)

ありがとうございます。18 ページの2のところの説明文も太字になったりなど、フォントが揃っていない部分なども散見されるので、全体を含めて修正をかけたいと思います。

(伊藤会長)

指導者の手引きや安全管理マニュアルなどもございますが、いかがでしょうか。一点確認なんですけど、8 ページの熱中症の部分ですけども、暑さ指数は℃で表示するという事で間違いなかったでしょうか。環境省から出ているものには℃はなかったようにも思えましたので念のためご確認いただきたいと思います。

(金子(春)委員)

何かあった際には各教育事務所に連絡してくださいとなっていますが、土日になるわけですがどのような連絡体制になっているのでしょうか。

(高橋社会体育係長)

土日ですが、各教育事務所には日直の方がいますので、連絡があれば対応はできますし、必要に応じて事務所の職員から社会教育課の方にも連絡がくるという体制になっています。

(伊藤会長)

他によろしいでしょうか。訂正箇所ですとか構成等いろいろ御指摘ございましたが、それを事務局のほうで修正について検討するということになりますが、それを踏まえた上で、本推進計画について、ご承認される方は拍手をお願いできますでしょうか。

<一同拍手>

(伊藤会長)

それでは、議題の(1)佐渡市地域クラブ活動推進計画案、指導の手引き及び安全管理マニュアルについては承認ということとさせていただきます。

議題の(2)今後のスケジュール等について事務局より説明をお願いいたします。

(柳澤学校教育課長)

私の方から今後のスケジュールについてご説明をさせていただきます。最後のページでございます資料ナンバー3をご覧くださいと思います。

まず、資料No.1でもご説明したところですが、保護者の一部の方から知らなかった、申し込みの仕方がわからなかったという、ご意見がございましたので、昨日この資料集に合わせまして、申し込み期限を8月30日(水)で、再募集をさせていただいたところ です。

その後、調整を経まして9月4日(月)に地域の各地区の開催日を生徒、保護者、学校に周知をさせていただきたいと思っております。9月5日(火)から15日(金)までの間に、年会費1,000円の納付をお願いしたいと思っております。開催案内に併せて納付書と一緒に同封いたしますので、年会費の納付をお願いしたいと思っております。

次に、9月17日(日)から種目によっては16日(土)から、地域クラブ活動の実施が開始されます。

続きまして、アンケートの実施でございますが11月下旬から12月上旬を予定しておりますこちらは9月、10月、11月の3か月間の実施に対して、生徒全員を対象にアンケート調査をさせていただきたいと思っております。申し込みをされてない子供たちにも、アンケートの実施をさせていただきたいと思っております。

その後1月下旬から中学校の入学説明会が各学校で行われますので、小学6年生を対象に説明をさせていただきたいと思っております。

最後の項目ですが、1月中旬、3月下旬に佐渡市地域クラブ活動推進協議会を開催したいと思っております。開催日が決まりましたら委員の皆様にご案内させていただきますので、出席いただきますようよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが今後のスケジュールについては以上です。

(伊藤会長)

今後のスケジュールについての説明がございました。ご質問等はございますでしょうか。

(濱辺委員)

はい、お願いします。中学の入学説明会の話がありましたが、保護者説明会について自分も相川の方に参加させてもらったんですけど、その後保護者の人たちからちょっと聞いた話によると、そのときだけの説明では完全には理解できなかったという保護者の人

たちもいました。詳しく理解せずに何となくその場で聞いて終わってしまったっていう保護者の方も結構おられた。入学説明会から小学生対象に行うのであれば、例えば別途もう少し具体的な説明をする説明会というか、そういうのも設けてみることも考えられるのではないかと思います。

(鈴木教育次長)

今のご意見を踏まえて、我々としてもやはりよく理解していただきたいと思っておりますので、入学説明会をはじめ来年度に向けてどういった形でやれるのか、内部の方で検討させていただきたいと思えます。

(岩崎委員)

いくつかありますが、まず再募集に関してです。1回目の募集についてはもう既に終わって、もう一度確実に再募集するというのですが、始まった後でも随時追加で申込みは可能だということによろしいでしょうか。

毎回学校を通じてそういった募集をするとすると、印刷ですとか呼びかけも大変な面もありますので、市教委として、例えば大きなポスターを使って作ってみるなどはどうかと思います。学校に貼ったり、公共施設に貼ることによって、いつでも保護者も見れますしそれを見てやりたいと思えば、そのままQRコード等で参加申込みができると思います。予算もかかるとは思いますが、学校としても助かりますのでご検討ください。

二つ目です。今年度の状況によってまた来年度の活動内容について決まるとは思いますが、学校では1月、年が明けたらすぐに年間の行事予定を決めていかなければなりません。来年度は、地域クラブ活動日を月に2回にするということで、具体的にどの日にちとするのかそれを早めに決定していただくと、学校の方でも、学校行事等の調整をすることができますので、是非お願いしたいと思っています。

三つ目は、生徒全員対象のアンケートということですがけれども、これは参加した生徒が対象でしょうかそれとも参加しなかった生徒もアンケートの対象になるのか、教えていただければと思います。

(鈴木教育次長)

アンケートにつきましては、まだ具体的な内容はこれから検討していきたいと思っておりますが、やはり参加しなかった生徒にもなぜ参加しなかったのかの理由を聞きたいというふうに思っています。それは、今回の地域クラブ活動ではない別の活動をしているからですとか、例えばやりたいと思った活動がないから参加しなかったのかなど、その辺りの原因を踏まえた上で、より良いものに改善していきたいという思いがあります。

そういう意味では、今の段階では、参加しなかった生徒も含めて、生徒全員を対象にしたいと考えています。また、ポスターなど良いアイデアをいただきまして本当にありがとうございます。これも含めて検討したいと思えます。

また、案内などについて、学校を通すか通さないかというところなのですが、やはり保護者説明会のときも感じましたが、保護者の方々にとっては学校とはものすごく信頼関係があるんだと思っています。なので、今の段階では我々から直に保護者の方々に連絡をするというよりはやはり学校を通じて連絡するといことが今は大事なのだらうなと思っています。ただ、その回数があまりに多いと、何でもかんでもということだと学校の方に負担をかけてしまいますので、今アイデアをいただいたポスターですか、いろいろ工夫については考えていきたいと思っています。

(鶴間社会教育課課長補佐)

来年度の計画の件ですが、先ほどの予定の中にもありましたが、アンケートの実施を11月頃となっております。本来であれば、活動は年間通じて行った後にアンケートをとるのがベストなのですが、やはり来年度の計画を練り、予算を確保しなきゃならないわけですので、そのためにアンケートで実態等を把握した上でということで、11月下旬に行いたいというふうに考えております。アンケートを回収しまして、すぐに集約して、それを踏まえた来年度の計画を作りたいと思っておりますので、12月中ぐらいには来年度の計画のおおよその形ができるということになりますので、学校の方には、それまでには実施日等々が示せるのではと考えております。

(長尾委員)

お願いします。今後ですが、休日の回数を増やしていくという中で、大会等がやはり被ってくるというふうな状況があります。来年以降回数を増やしていくに当たっては、そのあたりの各連盟の大会がどのあたりに入るのかということも踏まえていただけると、日程の調整がしやすいのかなと思います。そのあたりご検討いただければと思います。

(高橋社会体育係長)

ご指摘はその通りだと思っています。週末は各競技団体の大会等が入ってきます。

今後こちらの方で、例えば、具体の実施日を検討する中では、各団体の方、皆様にもそういう情報を提供させていただきながら、競技団体の方に日程変更をお願いする場合であるとか、また種目によっては変更がどうしてもできない場合もあると思いますので、可能なかぎり調整していくことができればと思っています。

(長尾委員)

せっかくこの地域クラブ活動に参加をしたいと思っても、実際に自分が所属している部活の試合があれば、そっちに行かざるを得ないということがあって、参加したくても参加できないということが生じてくるかと思うのですが、それが年間通して大会が多い部活の場合ですと、ちょっと生徒にとって切ないのかなと思います。

可能な範囲で検討いただければと思います。

(濱辺委員)

先ほどアンケートの話があったので、自分も一応いろいろ保護者の方とか子どもたちともいろいろ話を聞いたりするのですけれど、やっぱり子どもたちの中には一生懸命勝ちにこだわって練習しているチームとかに参加したいという子がいる。土日のこのクラブ活動は、言い方悪いですがちょっとお楽しみ会的な、ちょっとレベルを下げて初心者の子たちも楽しめるっていう企画で、それはそれで全然いいとは思いますが、勝ちにこだわって練習したい子たちからすると、練習じゃないなら違うのかな、行かなくてもいいかなって思うような子たちも結構いたように思いますので、その温度差だったりとか、そういうところでちょっと関心が薄くなってしまいうところもあるのかなと感じました。なかなか答えにくいかもしれませんが、いかがでしょうか。

(鈴木教育次長)

今回、スキップ型とエンジョイ型という形に分けさせていただいていますが、いずれもちょっと今の既存のジュニアスポーツクラブとの連携というところを意識しながら次は考えていかなきゃいけないのかなと思っています。その際にやはり今のスポーツを極めたいというようなお子さんも、参加してみたいと思えるようにするにはどうするかは検討課題だというふうに思っています。当然募集する際には、経験年数を聞いていますので、その情報は指導者の方にもお伝えをして、指導者の方でうまくやる中で、初心者と経験者を分けたり、もしくは一緒にできる内容などを考えながらやっていただくという形になっています。ただ、今回やってみて課題も見ながら、何がいいのかは考えていきたいと思っています。

(伊藤会長)

その他ございますでしょうか。よろしいでしょうか。今後の協議会につきましては、1月中旬、3月下旬に予定されているということですので、またご参加の方、お願いしたいと思います。

それでは議題の(3) その他ですが、何かございますでしょうか。

(金子(春)委員)

先ほど報告事項の中で、指導者研修会の話がありました。甲南女子大学の埴先生が2日間にわたり講義をしてくださったということで、2日間あるというのは参加者にとっても非常に都合がつきやすくよかったなというふうに思います。それで対象者が79人、そして参加者の方では60人というお話でした。参加できなかった方には資料や映像でというお話があったかなと思うのですが、映像というのはどのような形になるのでしょうか。

それと、今日中学校の校長先生方も2人参加されていますので、学校との連携というようなことも含めてですね、学校の先生方にもですね、是非この研修会の映像とか共有していただけるとありがたいなというふうに思います。この資料から見ても非常に内容の濃い研修会だったんじゃないかなというふうに思いますので、個人的な希望でございます。以上です。

(伊藤会長)

その他ございますでしょうか。事務局のほうで何かございますでしょうか。

(濱崎学校教育課課長補佐)

配付した資料に、前回の1回目の協議会の会議録をお配りさせていただいております。何か変更等の必要がありましたら、終了後でもよろしいですので、お願いします。

(伊藤会長)

皆様方からはスムーズな進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。事務局お願いいたします。

(濱崎学校教育課課長補佐)

会長におかれましてはスムーズな進行ありがとうございました。また委員の皆様方におかれましては様々なご意見等いただきましてありがとうございました。それでは閉会の挨拶を長尾副会長よりお願いいたします。

(長尾委員)

はい。長時間にわたりまして慎重なご審議をいただきましてありがとうございました。特に佐渡市における地域クラブ活動の推進計画ということで、具体的な案が示されて、これから本格的に動き始めていく形になると思っています。とにかく子どもたちが、やっぱりいろんな活動の機会を得て、そここのところでのいろんな経験を積み重ねていくということが、将来的なことに繋がっていくのではないかと考えます。是非、子どもたちを中心にしながら、我々大人の方で活動を支えていけるようなそういう体制作りができていくといいのかなというふうに期待をしております。これからもまた検討の機会、見直し、改善の機会があるかと思いますが、より良い活動になるようにまたご協力いただければと思います。

(濱崎学校教育課課長補佐)

本日は大変長時間にわたりましてありがとうございました。

これをもちまして第2回佐渡市地域クラブ活動推進協議会を終了いたします。

ありがとうございました。

(終了)